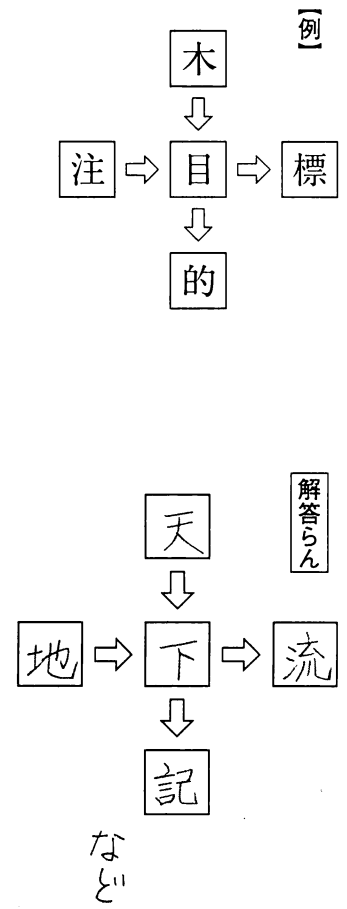


受験番号

(1) 一線「木目」を使って、二字の熟語を四つ組み合わせた【例】のような表を考えました。【例】にある「木目」「目的」「注目」「目標」以外の熟語を考えて、表を一つ完成させましょう。熟語は矢印の順に読むこととします。真ん中の漢字の読みは一つでなくてもよろしい。また、文章中の熟語を使っても、使わなくてもよろしい。



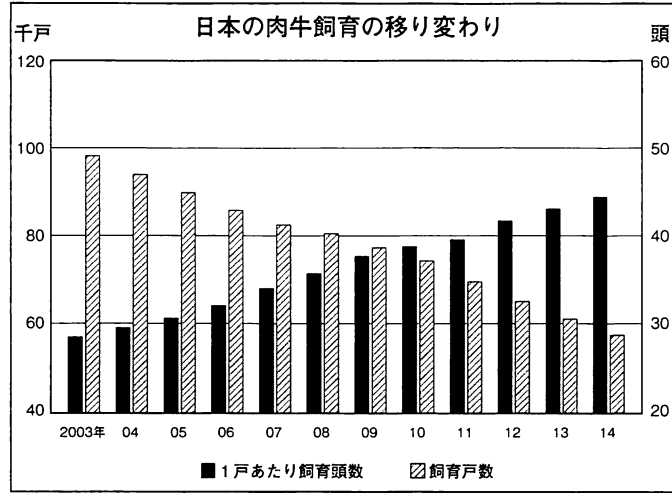
(2) 一線「漆器のチェスセット」とありますが、それを作るときに筆者は漆のどのような特徴を生かそうとしましたか。一つ書きましょう。

光の反射でさまざまに表情が変わり、触感も素晴らしいという特徴。

(3) 一線「グローバル化された世界」とありますが、日本は現在グローバル化の中で、さまざまな国と貿易をしています。

日本では、グローバル化の中で、肉牛を飼育するやり方が変化しています。左の資料1「日本の肉牛飼育の移り変わり」と資料2「日本に牛肉を輸出しているおもな2か国と日本の特徴」を参考にして、日本の肉牛飼育はどのように移り変わっているか書きましょう。また、このように日本の肉牛飼育が変化している理由も、他の国の肉牛飼育や牛肉生産の特徴をふまえて、書きましょう。

資料1



資料2

日本に牛肉を輸出しているおもな2か国と日本の特徴

	1戸あたり肉牛飼育頭数※	経営の特徴	1kgあたり牛肉価格(アメリカドル)	肉類の自給率(%)
アメリカ	100	企業・家族経営	9.77	115.9
オーストラリア	750	企業・家族経営	23.48	148.7
日本	41.8	家族経営中心	87.36	51.3

・農林水産省『畜産統計』、総務省統計局の「世界の統計2015」Web、独立行政法人農畜産業振興機構のWebより作成。
 統計年次について、1戸あたり肉牛飼育頭数は2012年、1kgあたり牛肉価格は2008年、肉類の自給率は2011年のもの。
 ※1戸とは1軒のこと。戸は家の数を数えるときに使う単位である。

飼育戸数は減少しているが、1戸あたりの飼育頭数は増加している。日本に比べ価格の安い外国産の牛肉に対抗するため、規模を大きくし効率よく牛を育てることで牛肉を安く生産しようとしているから。また、規模を大きくできない畜産農家は畜産をやめる場合もあるから。

※

※

※

